

宇都宮市海道小学校 第5学年児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「家で、学校や塾で決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている。」「平日に家で勉強する時間が1時間以上である。」と回答した児童の割合は71.0%、77.4%で県と比べて12ポイント、22.5ポイント高い。学力向上プロジェクトとして全校あげて、家庭学習への取組を学級懇談会で保護者に説明し、連携して指導してきた成果と考えられる。
今後とも、学校と家庭が連携して家庭学習が行えるよう力を注いでいきたい。

○「授業では、授業の目標(めあて・ねらい)が示されている。」と回答した児童の割合は93.5%で県と比べて3.7ポイント高い。学力向上プロジェクトとして全学級で行った成果と考えられる。

●「授業の最後に、学習したことを振り返る活動をよくしている。」と回答した児童の割合は56.1%で県と比べて18.6ポイント低い。毎時の授業計画をしっかりと行い、振り返りカード等を工夫して、授業の最後に行う振り返りを確実に実践していきたい。

●「自分はクラスの中の役に立っていると思う。」と回答した児童の割合は41.9%で、県と比べて12.9ポイント低い。また、「できるだけ自分ひとりの力で課題を解決しようとしている。」と回答した児童の割合は67.7%で、県のと比べて15.6ポイント低い。

一人一人の児童が学校や学級で活躍できる場を設け、自分の力が発揮できるよう支援していく。また、授業では課題に対して自分の考えをもっているかを確認して取り組ませていきたい。

●「学校のきまりを守っている。」と回答した児童の割合は80.6%で、県と比べて11.4ポイント低い。

ルールを守ることの大切さを柱に学習指導・児童指導を本校で実施している「海道小スタンダード」を中心に徹底して行い、児童の規範意識を育てていきたい。